

# 徳島民俗芸能フェスティバル

TOKUSHIMA Folk Entertainment Festival

## 民俗芸能ってなあに？

わたしのお父さん、お母さん、

そのまたお父さん、お母さん…。

わたしが生まれる前にたくさんの方がいる。

どんな生活をして、

何を考えていたんだろう。

今みたいにゲームやテレビもない時代、

年に1回のお祭りはすごい楽しみだったみたいだ。

世界中のどこを探してもない、

徳島のここにしかないお祭り。

わたしはちょっと前の生活やお祭りの扉を開ける。

わたしがわたしであるために



未来に思い出  
過去には希望  
これは私たちの物語

# 2022

7/23[土]~31[日]

10:00~17:00(入場は16:30まで)

会場/あわぎんホール

(徳島県郷土文化会館)3階 展示室

主催/公益財団法人徳島県文化振興財団 共催/阿波民俗芸能文化保存会

後援/徳島県教育委員会、徳島市教育委員会、一般社団法人徳島新聞社、四国放送株式会社、株式会社エフエム徳島

助成/文化庁「令和3年度第一次補正予算事業 子供たちの伝統文化の体験事業」、徳島県「とくしま文化・未来創造支援」





# 徳島民俗芸能フェスティバル

TOKUSHIMA Folk Entertainment Festival

日時／2022年7月23日[土]～31日[日] 10:00～17:00(入場は16:30まで)

会場／あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)3階 展示室

入場無料

お客様へお願い／本フェスティバルは新型コロナウイルス感染拡大防止および感染予防対策に十分配慮しての実施となりますので、ご来場の際は、検温、手指消毒、マスクの着用にご協力いただき、来場時には係員の指示に従っていただきますようお願いいたします。

1

## 阿波の万葉集

～阿波の歌たちを体験しよう!～

[筆文字 体験コーナー]

11:00～12:00  
15:00～16:00

11:00～12:00  
14:40～15:40

23日・24日でみんなが書いた  
筆文字を展示するよ☆

[イラスト展示]

10:00～17:00  
(入場は16:30まで)

10:00～17:00  
(入場は16:30まで)

10:00～17:00  
(入場は16:30まで)

[講演 農村舞台ってなあに?]

10:00～10:30

10:00～10:30

—

[本物とデジタル、  
2つのふすまからくり展示上映]

10:00～17:00  
(入場は16:30まで)

10:00～17:00  
(入場は16:30まで)

10:00～17:00  
(入場は16:30まで)

[デジタルふすまからくりの前でえびす舞の上演]

12:30～12:45

13:00～13:15

—

3

## 民俗芸能の“今”を見る 特設ステージ

「昔と今、自分につながる写真展」もあるよ

[写真展示]

10:00～17:00  
(入場は16:30まで)

10:00～17:00  
(入場は16:30まで)

10:00～17:00  
(入場は16:30まで)

[特設ステージ]

14:00～15:00  
(それぞれ10分程度)

13:30～14:30  
(それぞれ10分程度)

30日[土]、31日[日]  
お楽しみイベントあります!

4

## 檜瑛司コレクション

～阿波の遊行～

[檜瑛司コレクション展示]

10:00～17:00  
(入場は16:30まで)

10:00～17:00  
(入場は16:30まで)

10:00～17:00  
(入場は16:30まで)

同時開催

## Re.あわ文化(第76回夏期阿波人形浄瑠璃大会)

～精妙な人形、唸る声、躍動する身体、至高の音～

7月23日[土] 開演11:00 終演17:05  
7月24日[日] 開演10:00 終演16:25

あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)1階ホール

徳島県内の人形座・太夫部屋が一同に会し、伝統作品を上演する通常公演と、人形浄瑠璃の名作をメドレー形式で繋ぐ『義太夫節メドレー』や、「世界で活躍するコンテンポラリーダンサー・高瀬譜希子」×「和太鼓に選ばれた男・佐藤健作」との『UMITOKAMI』、津軽三味線小山流三代目・小山豊と未来に日本の音を繋ぐギタリスト・渥美幸裕との『三味線LIVE』などの特別公演とが織りなす新時代・人形浄瑠璃フェスティバル!

主催／公益財団法人徳島県文化振興財団 共催／阿波民俗芸能文化保存会  
後援／徳島県教育委員会、徳島市教育委員会、一般社団法人徳島新聞社、  
四国放送株式会社、株式会社エフエム徳島  
助成／徳島県「とくしま文化・未来創造支援」



令和3年度第一次補正予算事業  
子供たちの伝統文化の体験事業

お問い合わせ あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

徳島市藍場町2丁目14番地  
TEL. 088-622-8121 FAX. 088-622-8123  
E-mail. jigyo@kyoubun.or.jp https://www.kyoubun.or.jp  
Twitter: @awaginhall Facebook: @kyodobunkakaikan



# 徳島民俗芸能フェスティバル

## TOKUSHIMA Folk Entertainment Festival



# 1

### [筆文字 体験コーナー]

7/23 [土] 11:00~12:00、15:00~16:00

7/24 [日] 11:00~12:00、14:40~15:40 (それぞれ先着20名まで)

講師/安田 有吾 氏(書楽家)

安田 有吾(やすだ・ゆうご)プロフィール/書楽家として揮毫やデザインの仕事を主軸に活動しながらワークショップ「書楽家時間」を全国展開中。学ラン姿で踊るダンスカンパニー「コンドルズ」のメンバーであり、幼い頃より茶道を嗜む。主な揮毫に「新春浅草歌舞伎」「神田伯山 寛永宮本武蔵伝」「味の素 夜九時のひとり呑み」「KIRIN一番搾り 若葉薫る ホップ・夏冴えるホップ」などがある。 instagram:shogakuka



### [イラスト展示]

7/23 [土]~7/31 [日] 10:00~17:00(入場は16:30まで)

イラスト/金子 都美絵 氏(画工)

金子都美絵(かねこ・つみえ)プロフィール/1963年、東京都生まれ、徳島県育ち。徳島市立高校、東京造形大学絵画科卒。白川静文字学を画本にする仕事として『絵で読む漢字のなりたち』『白川静文字学に学ぶ 漢字なりたちブック』(全7巻)、『新版 101漢字カルタ』『ようちえんかんじカルタ』『文字場面集 一字一絵』(いずれも太郎次郎社エディタス)、『白川静の絵本 サイのものがたり』『白川静の絵本 死者の書』(平凡社)などがあるほか、古代文字フォント「春秋-tsu」を制作、無料配布している。



徳島に昔から伝わってきた「盆踊り歌」などを「阿波の万葉集」として取り上げるよ。阿波の歌を楽しく書いてみたり、文字の中に閉じ込められた様々な原風景を描いた作家のイラストを展示しているので、色々な角度から「阿波の万葉集」を体験してみよう。

### 万葉集って知ってる?

日本で一番古い歌の本。  
大らかで、そばくで、美しい歌の本。  
徳島にもそんな歌が  
たくさん残っているのを知ってる?  
例えば・・・

「空がきれい、鳥の声が聞こえる、花が咲いた、  
そして大好きなあの人に会える!」  
このように、今の私たちと  
同じ気持ちが歌われている。

来るか戻るかと  
浜へ出てみれば  
浜は松風 音ばかり  
(徳島市・津田の盆踊り)



阿波の歌たちを体験しよう!

## 阿波の万葉集

# 3

### 民俗芸能の“今”を見る特設ステージ

昔と今、自分につながる写真展

### [写真展示]

7/23 [土]~7/31 [日]

10:00~17:00(入場は16:30まで)

### [特設ステージでの公演等]

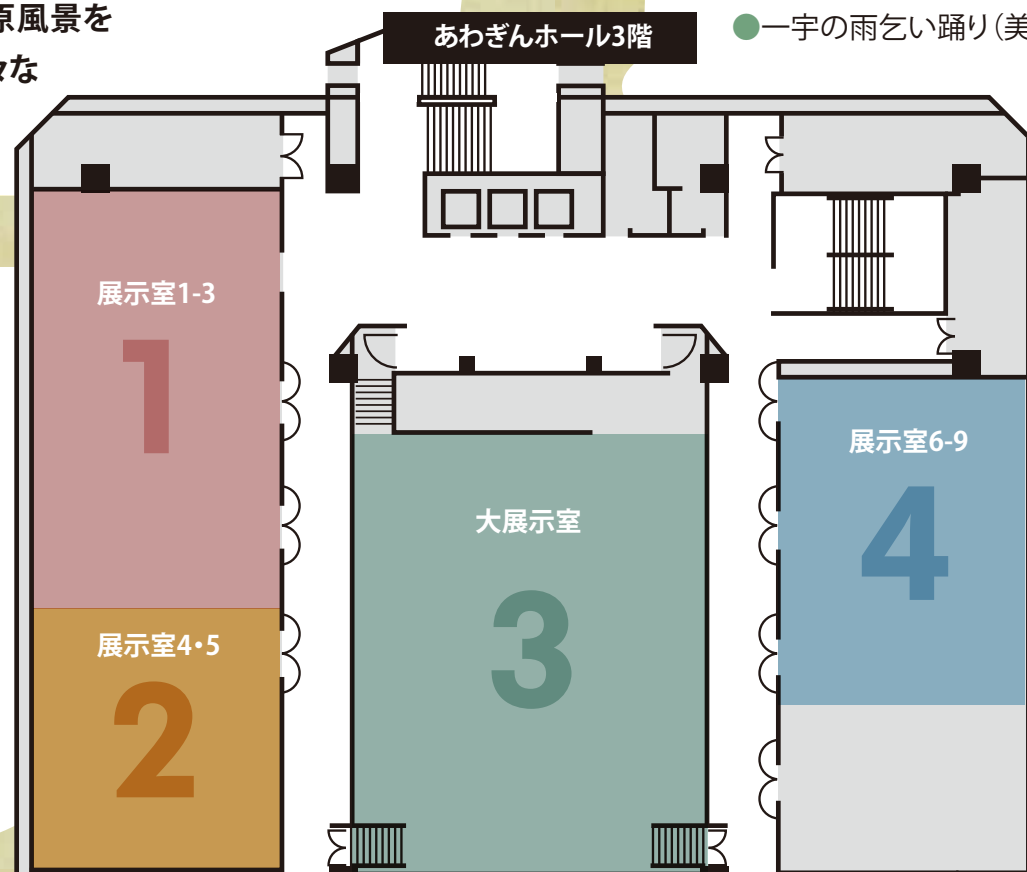
7/23 [土] 14:00~15:00

7/24 [日] 13:30~14:30 (それぞれ10分程度)

特設ステージでは、徳島の各地域の民俗芸能が集まってお話や公演をするよ。特設ステージは、徳島県の地図になっていて、その周りで公演を楽しむことが出来るよ。また、会場の壁面には、これまでの貴重な写真パネルの展示するので、過去に思いを馳せながら、民俗芸能に触れてみよう。

### 公演や講演内容(予定)

- 津田の盆踊り(徳島市)
- 粟山の鉦踊り(三好市山城町)
- 八坂神社の祇園祭の奉納舞(海部郡海陽町穴喰)
- 三人背継ぎ獅子舞と練り(板野郡松茂町)
- 一字の雨乞い踊り(美馬郡つるぎ町一字村) ※24日のみ





# 2

世界に誇る阿波農村舞台を知ろう！

## 私たちの貴重な文化財

### 【講演 農村舞台ってなあに?】

7/23[土]・24[日] 10:00~10:30

講師/佐藤 憲治 氏(徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 館長)

### 【本物とデジタル、2つのふすまからくり展示上映】

7/23[土]~7/31[日] 10:00~17:00(入場は16:30まで)

### 【デジタルふすまからくりの前でえびす舞の上演】

7/23[土] 12:30~12:45

7/24[日] 13:00~13:15

徳島県内にある有形民俗文化財・農村舞台のことをもっと知ることが出来るコーナーだよ。農村舞台での代表的な演目である「ふすまからくり」のデジタル化した映像コーナーは、これから生きる私たちに、何を語りかけてくるのかな?

#### 「人形じょうり」とは?

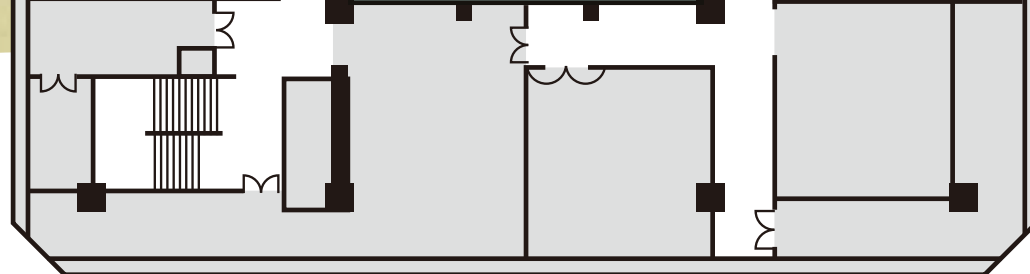
「じょうり」は音楽の名前。物語を語る太夫と、気持ちや情景も表現する三味線の2人で物語の世界を作っていくんだ。「じょうり」にあとから人形しばいが合わさって、400年くらい前にできたのが人形じょうり。1つの人形を3人で操るから、とても繊細な表現ができるんだよ。太夫の語りと三味線の音色と人形の動きの3つが一体となって演じる日本人らしい芸能なんだ。

#### 「農村舞台」とは?

全国の神社の境内には、神さまに芸能を見てもらおうための舞台がたくさん残っているよ。神社に来るいろんな人のいろんな願いを聞いてもらうための、神さまに喜んでいただく大切な舞台。そしてその地域の人たちは舞台を守りながら、神さまといっしょに芸能をたのしんだんだよ。何より徳島は人形じょうりのための農村舞台が全国で一番たくさん残っている、舞台王国なんだ。

#### 「ふすまからくり」とは?

農村舞台では人形じょうりを上演するとき、背景に絵を描いたふすまを並べたんだ。お芝居とは別に、ふすまの絵を楽しむために考えられたのが「ふすまからくり」。ふすまを左右に開けたり、回転させたり、つり上げたり、場面を変えるためにいろいろな方法が考えられたんだ。このふすまからくりを映像作品にしたのが「デジタルふすまからくり」だよ。



### 【檜瑛司コレクション展示】

7/23[土]~7/31[日] 10:00~17:00

(入場は16:30まで)

# 4

阿波の遊行

## 檜瑛司コレクション

徳島の民俗芸能研究の第一人者である檜瑛司さんが残した貴重な資料を展示・紹介するよ。たくさん記録した写真やテープの展示から、映像で見られるコーナーもあるので、昔の徳島まるわかり。民俗だけでなく、日本舞踊や洋舞もあるよ。

#### だれ? 檜瑛司って?

徳島の民俗芸能をたくさん調査して記録した人。お祭りや歌をコンテンポラリーダンスや日本舞踊にして今に残そうとした舞踊家なんだよ。

#### その人が何をしたの?

徳島のお祭りや民謡を調べていっぱい残したんだ。おじいちゃんやおばあちゃんの時にあったお祭りや歌が、今はどんどん少なくなっていて、檜瑛司って人は、そんな歌や踊りが無くなる前に、記録に残したんだ。

#### でもわたしにはあんまり関係ないかな・・・

もし君が自分のルーツを調べようとした時、そこの歌や踊りがわかると、ちょっと自慢できると思わない? だってその歌や踊りは、世界中さがしてもその場所にしかないんだよ。

